

# 2023年度（令和5年度）後期：保育所における自己評価

## 松阪清泉愛育園

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせるような内容で評価します。

[記入方法]

A（大変良い）、B（良い）、C（一部検討を要する）、D（改善を要する）の4段階で評価します。  
項目ごとに、意見・改善策を記述します。

### 【1】保育内容に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
	(1) 保育所職員らが、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか	○				「みんな一人ひとり尊重しているのではないか」という声が委員会内で多かった
	(2) 保育所職員らが、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人権を辱めたりするなど精神的苦痛をあたえることがないようにしていますか。	○				日頃からの保育を見て、保育者一人ひとりが暖かい保育をしているので、子どもに身体的苦痛を与えたりする保育者はいないのではないか
	(3) 個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	○				・必要な時には家庭に聞いて、個人情報同意書を配布している ・また保護者には動画の撮影は行事のみと周知してある。撮影した写真はSNSにのせないと保護者に事前に周知してある

保育内容に  
関する

<p>(4) 職員らは、子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が 必要か見極め、それぞれにとって適切な 援助をしていますか</p>	○			<ul style="list-style-type: none"><li>・通訳の採用決定</li><li>・個々の支援に向け、保育のあり方を 相談し、市役所と連携している</li><li>・園では気になる子 についてのエピソード記録をとり、園内 研修等で課題や改善点について話し合っ ている</li></ul>
<p>(5) 子どもと一緒に思い切り体を動か して遊ぶことの重要性を理解し、楽しん でいますか。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"><li>・リトミックやリズム遊びをクラスで活 動として取り入れている</li><li>・夏の間、熱中症指 数のため戸外に出ることが難しい日が多 いので、夏の期間はランチルームをプレ イルームとして使 い、体を動かす機会 をもうけている</li></ul>
<p>(6) 職員それぞれが、一人ひとりの子 どもに目が行き届いていたか振り返り、 これからの保育の課題を見つけることが できますか。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"><li>・開園当初は困難も あったが夏頃から保 育にも余裕ができて、振り返りするこ とができるように</li></ul>

<p>(7) 職員らは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。</p>	<p>○</p>				<p>・現場の保育者から「保育所指針」を見て、保育を振り返ることが個々に必要であると話が挙がった。</p> <p>・園でも保育所保育指針を購入する</p> <p>・一人一人の読み直しを推奨</p>
<p>(8) 職員らは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。</p>	<p>○</p>				<p>・子どもの温かな姿から無意識に普段から保育者が自園の方針である「家庭的な雰囲気の中で～」を人的環境としてつくり出しているのではないかと指摘されている。指導計画の文字にはないが、気持ちがつながっている。子どもたちのつぶやきからも働きかけが反映されている</p>
<p>(9) 職員らは、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象を把握して、月・週・日案などを作成していますか。</p>	<p>○</p>				
<p>(10) 各クラスにおいて、月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。</p>	<p>○</p>				

<p>(11) 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。</p>	○				<p>複数担任のクラスはクラスの保育者同士話し合うことが大切と思っている保育者たちが多く、子どもの姿で気になったこと等を同じクラスの保育者で話し合い、次の月案・週案等に活かしている</p>
<p>(12) 月・週・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から職員自ら保育を評価・反省していますか。</p>	○				
<p>(13) 職員らは、月1回以上、指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。</p>	○				
<p>(1) 園児らの発育・発達状況を把握し、職員全体で情報を共有することで、日常の保育にいかせていますか。</p>	○				
<p>(2) 食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の指導のもと、適切な対応をしていますか。</p>	○				<p>・食物アレルギーに関しては調理室で机を普通食とアレルギー除去食を分けておいてある。また冷蔵庫も分けている。今後は皿の色を変え、視覚的にも分かりやすくする予定</p>
<p>(3) 日頃から問題の早期発見を心がけ、虐待や家庭内の問題などが疑われる場合は、園長や主任、専門機関と連携を取りながら適切に対応していますか。</p>	○				

配 慮 及 び 健 康 管 理  す る 評 価	(4) 特別な配慮がある園児に対して、園内で情報を共有し、専門機関と連携を取りながら対象園児への理解を深めるような取り組みをしていますか。	○				
	(5) 園内の感染症対策を職員らが理解し、実践できていますか。	○				園内で感染症が起きないように日頃から嘔吐等の処理研修を看護師のもと行い、保育者は知識を深めて実践に活かしたり、園内で感染症が起きたい際には迅速に手紙や「コドモン」の配信を用いて情報発信したりしている ・今後も保護者からのアンケート等を参考にし、危機管理等に注意していく
	(1) 清泉愛育園の保育理念を理解し、保育理念を実現できるような保育計画を立て、日々の保育を行っていますか。	○				清泉愛育園の保育目標について、いつでも目を通すことができるように園内に表示している
	(2) 異年齢保育の中で思いやりのある心を育て、園全体で豊かな人間関係が築けるような保育環境を設定していますか。	○				子どもたちが思いやりのある心が育つように指導案等にも異年齢での関わりに関する内容を記入し、日頃から異年齢で遊んだり、交流を深めたりしている

<p>(3) 園全体で家庭的な雰囲気の中で自己肯定感を育む保育をしていますか。 (自己肯定感を育む工夫を保育計画に入れてありますか)</p>	○			<p>子どもたちの自己肯定感が育むように、保育者は日頃から「子どものできた」を見逃さず認めたり、受けとめたりしながら保育を進めている</p>
<p>(4) 園全体で生きる力を育むための保育環境を整えていますか。また、生きる力を育むことで「自立心」を養うことができますか。</p>	○			<p>自立心が養うために、日頃の保育では自分でできることは自分でしようとする姿を見届けたり、援助が必要な時にはできないところだけ手伝ったりして関わっている</p>
<p>(5) 幼児期に「自分で考え行動できる子」に育てるための保育内容を実践できていますか。</p>	○			<p>「自分で考え行動できる子」に育つように、日頃から子どもたちの考えを尊重したり、自分で行動しようとしたりすることを認めている。また気持ちを受とめている</p>

園の保育目標・方針に関する評価

<p>(6) 園児が葛藤を経験したり、失敗や困難に直面したりする際に、自ら立ち向かおうとする力を導き出していますか。</p>	○			<p>失敗した時に自ら立ち向かおうとすることができるよう、失敗した時にはその時の気持ちを十分に受けとめながらも、前向きになるような言葉をかけたり、自分でしようとして少しでもできるようになった時には保育者全員で認めて、個々の自信へつなげたりしている</p>
<p>(7) クラス友人や異年齢の仲間と共に育ち合う保育環境を実現していますか。</p>	○			<p>保育室やフロアに子どもたちが興味・関心がもてる環境を作り、日頃から友だちや異年齢で遊ぶことが楽しむ体験、経験をしている</p>
<p>(8) 園全体で「対話」を大切にして、人との対話を楽しむような保育や人の話を最後まで聞けるような指導をきちんと行っていますか。</p>	○			<p>「対話」の面では、日頃から子どもたち一人ひとりの気持ちや思いを読み取ったり、また最後まで聞いて保育者が見本となったりして関わって</p>

	(9) 体力づくりのための活動を保育内容に取り入れていますか。	○				体育指導があったり、またクラス内でも子どもたちのつぶやきをひろいながら、リズム遊び等を楽しんだりしている
	(10) 園の食育方針を理解し、食べものを大切にする「共食」「植食」を保育内容に取り入れていますか。	○				「共食」「植食」に関する保育内容としては、折々の季節に合わせて園で野菜を育てたり、子どもたちが友だちと食べるのが楽しいと思える雰囲気作りを心掛けていたりしている
	(11) 世界の文化や情勢にも目を向け、「世界の子どもと手をつなげる」ことができるよう保育内容に取り入れていますか。	○				異国籍の子がいるクラスもあり、人種を分けず一人ひとりの子どもに寄り添い尊重しながら保育を進めている

## 【1】 保育所運営に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				・ 理事会の方に関わっていただいている ・ 職員室に運営図の説明の表示がある
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				



	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
会計	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				会計としては、会計事務所の先生と連携して行っている
人事・自己評価	(1) 個人面談がきちんと行われ、人事評価が適切に行われているか。	○				個人面談を年3回行って、定期的に実施している
	(2) 保育士や職員の自己評価がきちんとできるように、サポートがなされているか。	○				
	(3) 自己評価内容が保育の質向上に反映されているか。	○				・自己評価結果内容を保育者に園内研修で周知している
	(4) 保育所の自己評価のために、第三者(専門家・保護者・地域住民)からのフィードバックを受けているか。	○				
	(5) 保育所の自己評価を職員全員の共通理解の元で行われているか。	○				
	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				

運 営	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○				<p>・ 打合せの回数 (ミーティング) は 月 1 回で行い、適切 である。また時間も 保育に支障がないよ うに時間を決めて 行っている</p> <p>内容は全員に周知 が必要なことを中心 に会議で話し合っ ている</p>
所 内 研 究 ・ 研 修	(1) 所内研究がなされているか。	○				<p>松阪市独自の研修を もとに、気になる子 のエピソード記録を とり、気になる子へ の保育支援等を考え るきっかけや対策と している</p>
	(2) 所内研究の主題は、保育目標の具 現化につながるものであるか。	○				
	(3) 所内研究の計画・運営は適切か。	○				
	(4) 研究の成果を日常の保育に生か し、乳幼児の保育内容・育ちに反映され ているか。	○				
	(5) 研究の実践による乳幼児理解が深 まりを見せているか。	○				
	(6) 園内研修の計画と運営は適切か。	○				
研 修	(1) 各種研究会、研修会、講演会への 参加態勢の充実を図っているか。	○				

・研究	外部研修	(2) 各種研究会、研修会、講演会での内容を所内に還元しているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修等の記録・反省は記入しているが、その記録・反省に対して実践に活かしていけるようにしていく</li> <li>・研修会、講演会で講師の方に教えて頂いた実技を保育に取り入れて還元している。</li> <li>・実技で学んだことを実際の保育では活かすことができているが、キャリアアップ研修や他の研修など今後、会議時に報告できる時間を設ける</li> </ul>
		情報管理	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報を適切に取り扱うことができるように書庫に鍵をつけ、延長保育の保育者が鍵をかけている</li> </ul>
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○			
		(3) 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理されているか。	○			
		(4) パソコンやタブレット（各種システムやコードモンにも同様に）パスワードを設定し、使用しない時は施錠管理される場所に保管されているか。	○			

施設 設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行なっているか。	○				
	(2) 遊具・用具などを活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者などに対応する周到的配慮を行なっているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者などに対応するために年2回不審者訓練を行った</li> <li>・来年度は色々な想定や子どもが怖がらないような訓練を考えていく</li> </ul>
	(4) 掲示板・掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	○				
施設 間 交 流 ・ 連 携	(1) 他施設との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。	○				
	(2) 他の施設の職員同士が、研修や交流の機会を持って、互いの保育・教育に対して理解を深め相互にアドバイスできるような関係を構築できているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開保育や合同研修、交流保育に参加し、他施設の職員と交流することができた</li> </ul>
	(3) 他の施設と日常的に情報交換をし、それを交流活動に生かしているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・(2)で公開保育や合同研修、交流保育に参加し、他施設の職員と交流することができている</li> </ul>
	(1) 保護者などに保育参観日を設定しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は実施できなかった。来年度は保育参加日を年1回予定している</li> </ul>

家庭・地域との連携	(2) 保護者を含む地域の人材活用をしているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカの演奏等、地域の方を招待した。またクリスマス会の際にサンタクロース役として保護者をお願いして参加して頂いた為、保護者を含む地域の人材を活用できた</li> </ul>
	(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後地域の祭りや文化体験（松阪もめん・埴輪館など）ができる施設を活用する</li> </ul>
	(4) 地域住民などを巻き込んだ行事などを行えているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マジックショーや人形劇などに参加し、地域住民を巻き込んだ行事への参加ができた。</li> <li>・来年度は魚茂さんが獅子舞の踊りを披露して頂けるという話があり、来年度は計画をしてもよいのではないかと検討中である</li> </ul>
開かれた保育所づくり	(1) 地域の子育てセンターとして、園の開放をしているか。			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は行っていない。センターとしての子育て支援は市への申請等が必要なため、来年度は園庭開放や親子教室等の子育て支援を行っていく計画をしている</li> </ul>
子育て					

支援の推進	(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。			○		・来年度は園庭開放や親子教室を行っていく計画をしている
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象にした学習の機会を設定しているか。	○				
	(4) 職員による「子育て相談」は充実しているか。	○				
	(5) 医療機関・児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	○				
情報発信	(1) 保育所だより・クラスだより・ホームページなどで施設の情報を発信している。	○				
	(2) 行事や子育て支援事業などを地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○	・今後行事の開催や子育て支援事業を運営する時には、その都度小学校へ情報を発信していけるように検討中である ・来年度は行事案内を自治会や小学校等に連絡していく
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	・開園1年目ということで、第三者評価を5年に一度行っていくよう検討中である
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				アンケートをとって保護者に意見等を改善していけるように職員全体で周知し、話し合っている

